

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月
基準日 定時株主総会 毎年2月末日
期末配当金 毎年2月末日
中間配当金 毎年8月31日（中間配当を行う場合）
（その他必要がある場合はあらかじめ公告して定めた日）

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777（通話料無料）

公告方法 電子公告（当社ホームページに掲載）
<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場取引所市場 東京証券取引所 スタンダード市場

（ご注意）

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



環境方針

- 企業活動のなかで、資源の有効利用、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、環境に配慮した商品の提供に取り組んでいきます。
- 環境に関する法規制および当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- 環境保全のために必要な改善の継続と汚染の予防に努めます。
- この方針は、文書化して全従業員に周知徹底し、実施・維持します。
- この方針は、社内外全般に公表します。



株式会社 **マルヨシセンター**

MARUYOSHI SUPER REPORT

第63期 報告書

2022年3月1日 ▶ 2023年2月28日

MARUYOSHI CENTER



Top Message

地域の皆さまの食生活を
より豊かに、楽しく、便利にする
ライフスタイル提案型
スーパーマーケットを目指します。



代表取締役会長 CEO 佐竹 克彦

株主の皆さまには、日頃より格別のご支援をたまわり、誠に有難く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第63期連結会計年度（2022年3月1日から2023年2月28日まで）の事業の概要と決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度（2022年3月1日～2023年2月28日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響のあるなか、ワクチン接種の促進により新規感染者数が減少した一方で、変異株の拡大により感染者が増加するなど一進一退の状況が続きました。加えて、ロシア・ウクライナ情勢の長期化が懸念され、それに起因する資源価格の上昇等、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

個人消費につきましては、行動自粛の緩和などで幾分明るさを取り戻しつつありますが、雇用・所得環境の悪化は改善されず、厳しい状況で推移いたしました。

小売業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大抑止のための外出自粛要請やテレワークの推進等によるお客様の内食需要の高まりへの対応や、店舗における感染拡大防止策の実施等、求められるものは引き続き変化しており、労働需要の逼迫に伴う人件費関連コストの増加、さらに、企業の統合・業界再編への動きがより一層強まるなど業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社は新型コロナウイルス感染症

の影響により、食料品及び日用品の需要は引き続き好調に推移したものの、前年同期の買い溜め需要の反動減の影響がありました。

そのような状況のなか、当社は基本方針を「マルヨシセンターらしさの実現」とし、経営理念である「健康とおいしさ」をキーワードに、高まる簡便需要への対応と外食需要の取り込みを図るため、味、品質にこだわった味付き肉やデリカ（惣菜）の商品開発を強化しております。また、基本の徹底「挨拶」「接客・サービス」「鮮度管理・クリンリネス」「品切れさせない」を行動の基本とし、地域のお客様に喜んでいただけるように取り組んでおります。上半期は、シェア拡大のために徹底して商品量を増加させたことで、売上高・客数は前年度を上回り順調に推移したものの、2022年3月に導入した新基幹システムの不具合も重なり、数値管理が不十分な状態となり、値下げ・廃棄が増加、荒利益高の十分な確保ができませんでした。現在は、新基幹システムの不具合は概ね解消され、シェアを確保しつつ、荒利益高の最大化に向けて無駄な値下げ・廃棄が発生しない適切な商品量を目指して改善を進めております。また、原油価格の高騰、円安の影響等による商品原価や光熱費等の増加についても、より強固な経営基盤の構築を目的とした生産性の改善をさらに進めることで、経費の圧縮を図り、1人当たりの利益高の向上に取り組んでおります。

2023年5月

就任のご挨拶

平素は当社グループの事業経営に一方ならぬご支援をたまわり、厚く御礼申し上げます。本年3月1日付けにて代表取締役社長に就任いたしました加藤宏道でございます。

今後は地域になくてはならないスーパーマーケットとして企業価値を高め、社業が発展するよう全力を尽くしてまいります。

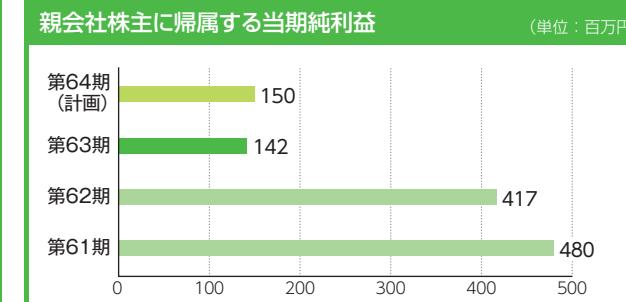
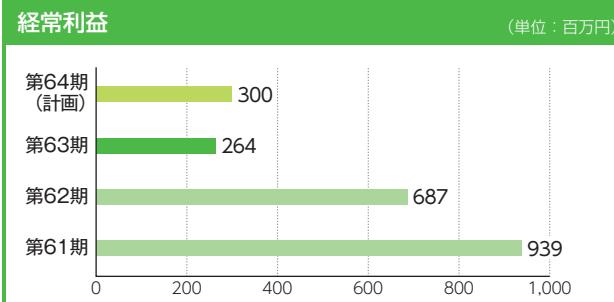
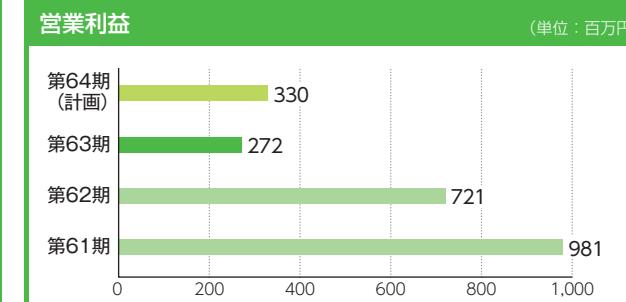
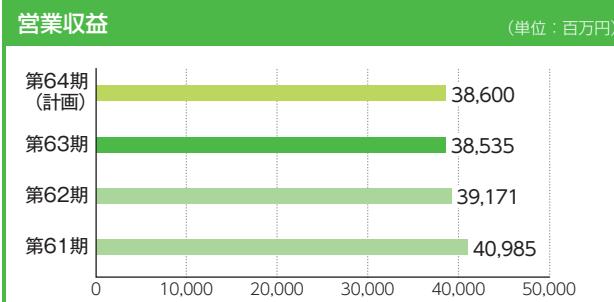
株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧をたまわりますようお願い申し上げます。

2023年5月



代表取締役社長 COO兼CFO 加藤 宏道

財務ハイライト（連結）





特集① 新商品オリジナルBOX Premium 「魚よしの醤油」

ほんのりとした甘みと深いコク



魚よしの醤油

お寿司・お刺身はもちろん、
煮物料理などの隠し味にも幅広く使える自慢のお醤油です。



製造元



堺屋醤油株式会社

文政2年（1819年）の創業以来、200余年にわたり守ってきた職人の味。長い歴史のなかで引き継がれた伝統ある職人技が評価され、全国醤油品評会にて過去4回の「農林水産大臣賞」を受賞しています。



特集② 新商品 「肉屋の豚バラソース焼きそば」

クセになるほど旨い!

肉屋の豚バラソース焼きそば

「レンチン」だけで作りたての味が楽しめます。
焼かないのでお肉がやわらかく、ランチや夜食にもおすすめです。
お肉コーナーで好評発売中!





私たちマルヨシセンターは、国連が採択した「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に貢献してまいります。

マルヨシセンターは、環境への配慮、地域の皆さまとの交流活動、障がい者への配慮等を通じて、持続可能な未来構築に向けて取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



●持続可能な開発目標SDGs(Sustainable Development Goals)とは
2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」という誓いを掲げ、貧困問題改善や地球環境保全など、持続可能なよりよい未来を築くことを目標としています。

4 質の高い教育をみんなに 坂出商業高校の生徒が考えたコロッケを販売 地元高校とのコラボ企画で地域教育との繋がりを開拓

香川県立坂出商業高等学校の生徒の皆さんがレシピを考案したコロッケを販売しました。さつまいもチーズコロッケ、スイートポテトコロッケ、めんたいオリーブコロッケの3種類をラインアップし、「おいしい」とご好評をいただきました。



レシピを考えた坂出商業高校の生徒の皆さん

さつまいもチーズコロッケ

坂出金時にもにチーズを合わせた、一口サイズの甘いコロッケ。

スイートポテトコロッケ

坂出金時にもを使ったスイートポテト風。ごまがアクセントに!

めんたいオリーブコロッケ

ピリ辛な明太子に、香川県産のオリーブオイルがベストマッチ。

12 つくばしをつかう責任 店内にデスクマット型ポスターを設置 消費者庁の食品ロス削減啓発活動に協力

2022年10月に消費者庁の「食品ロス削減月間における啓発活動」に協力し、お客様が購入した商品を買物袋に詰める作業台の上に、デスクマット型ポスターを設置しました。これからも食品ロス削減の取り組みを進めてまいります。



店内の作業台の上にデスクマット型ポスターを設置しました。



©円谷プロ
©かいじゅうステップワンダバダ製作委員会

連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	当期末 (2023年2月28日現在)	前期末 (2022年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	2,990,445	2,986,454
固定資産	13,153,244	13,485,029
有形固定資産	10,878,373	11,127,181
無形固定資産	620,909	671,579
投資その他の資産	1,653,961	1,686,268
繰延資産	4,783	6,165
資産合計	16,148,474	16,477,649
負債の部		
流動負債	6,024,499	6,025,333
固定負債	7,056,200	7,493,466
負債合計	13,080,699	13,518,800
純資産の部		
株主資本	2,889,441	2,776,586
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	514,827	514,827
利益剰余金	1,321,359	1,208,504
自己株式	△ 24,743	△ 24,743
その他の包括利益累計額	△ 3,989	11,136
その他有価証券評価差額金	△ 14,689	△ 11,301
退職給付に係る調整累計額	10,700	22,438
非支配株主持分	182,322	171,125
純資産合計	3,067,775	2,958,849
負債及び純資産合計	16,148,474	16,477,649

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

（単位：千円）

科目	当期 (2022年3月1日から 2023年2月28日まで)	前期 (2021年3月1日から 2022年2月28日まで)
売上高	37,238,378	37,913,746
売上原価	28,472,476	28,449,783
売上総利益	8,765,901	9,463,963
その他営業収入	1,297,534	1,257,779
営業総利益	10,063,436	10,721,743
販売費及び一般管理費	9,791,414	9,999,935
営業利益	272,022	721,807
営業外収益	54,959	37,388
営業外費用	62,864	71,679
経常利益	264,117	687,516
特別利益	798	—
特別損失	48,276	14,725
税金等調整前当期純利益	216,638	672,790
法人税、住民税及び事業税	53,468	198,989
法人税等調整額	9,567	41,569
当期純利益	153,603	432,232
非支配株主に帰属する 当期純利益	11,217	14,510
親会社株主に帰属する 当期純利益	142,385	417,721

（注）1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 当期から「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、当連結会計年度の期首から新たな会計方針を適用しております。「収益認識会計基準」等適用前の売上高は、385億21百万円（前期比1.6%増）であります。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	当期 (2022年3月1日から 2023年2月28日まで)	前期 (2021年3月1日から 2022年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	665,309	△ 367,115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 379,975	△ 536,439
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 400,514	△ 670,994
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 115,181	△ 1,574,550
現金及び現金同等物の期首残高	1,056,026	2,630,576
現金及び現金同等物の期末残高	940,845	1,056,026

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

（2022年3月1日から2023年2月28日まで）

（単位：千円）

科目	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,077,998	514,827	1,208,504	△ 24,743	2,776,586	△ 11,301	22,438	11,136	171,125	2,958,849
会計方針の変更による累積的影響額			△ 1,482		△ 1,482					△ 1,482
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,077,998	514,827	1,207,021	△ 24,743	2,775,104	△ 11,301	22,438	11,136	171,125	2,957,367
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 28,048		△ 28,048					△ 28,048
親会社株主に帰属する当期純利益			142,385		142,385					142,385
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△ 3,388	△ 11,738	△ 15,126	11,196	△ 3,929
連結会計年度中の変動額合計	—	—	114,337	—	114,337	△ 3,388	△ 11,738	△ 15,126	11,196	110,408
当期末残高	1,077,998	514,827	1,321,359	△ 24,743	2,889,441	△ 14,689	10,700	△ 3,989	182,322	3,067,775

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

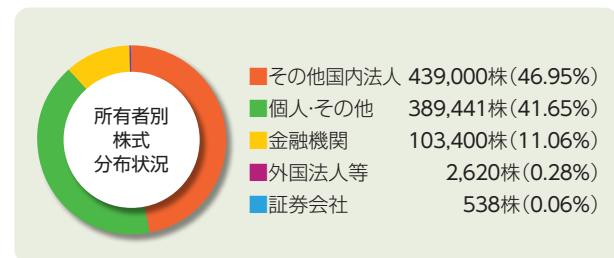
株式の状況 (2023年2月28日現在)

- 1) 発行可能株式総数 2,175,000株
- 2) 発行済株式の総数 934,999株
- 3) 株主数 465名

大株主 (上位10名)

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
株式会社 イズミ	185,200	19.81
佐竹 睦子	92,500	9.89
マルヨシセンター取引先持株会	89,400	9.56
有限会社 佐竹興産	49,900	5.34
株式会社 百十四銀行	37,900	4.05
株式会社 阿波銀行	37,900	4.05
マルヨシセンター従業員持株会	26,739	2.86
佐竹 克彦	26,200	2.80
ロージー 美佳	17,000	1.82
黒田 真由美	11,400	1.22

(注) 持株比率は自己株式(63株)を控除して計算しております。



会社概要 (2023年2月28日現在)

社名 株式会社マルヨシセンター
 設立 1961年3月
 本店の所在地 香川県高松市国分寺町国分367番地1
 資本金 1,077,998千円
 事業内容 スーパーマーケットおよびレストラン
 店舗数 スーパーマーケット35店舗
 レストラン1店舗
 従業員数 399名
 (ほか、パートタイマー1,097名 [8時間換算])

取締役・監査役 (2023年5月25日現在)

代表取締役会長 CEO	佐竹 克彦
代表取締役社長 COO 兼CFO	加藤 宏道
常務取締役 CMO	伊藤 雅久
取締役	寺本 智広
取締役	大下 秀樹
常任監査役	大西 敏広
監査役	かわ川 祥次
監査役	み宅 康夫

(注) 大下秀樹は社外取締役、川東祥次および三宅康夫は社外監査役であります。

会計監査人 (2023年5月25日現在)

太陽有限責任監査法人

